

こんにちは。
町長です。



小鹿野町若手職員おがの創生 プロジェクトチームについて

ある数値の報告を受け強いショックを受けました。それは平成30年(1月から12月)の1年間の小鹿野町での出生者数が38人であったことです。過去3年間のそれが40人台で推移しておりましたが、30人台に突入してしまっことは非常に厳し

い現実を突きつけられました。

町では、様々な定住化対策、子育て支援対策などを進めております。そのような中で、平成29年10月に町役場の若手職員(概ね35歳以下、現在22名の職員)で「小鹿野町若手職員おがの創生プロジェクトチーム」を結成し、町の喫緊の課題である人口減少対策についての事業提案、実施などについて横断的な組織体制で取り組んでおります。

若手職員の柔軟な新しい発想で「町民が住み続けたいと思う町、町外の方が魅力を感じる町をつくること」を目標に活動を続けています。平成30年度は具体的に次の4つの大きなテーマを設定し、班を編成して事業を進めています。

- ①情報発信(小鹿野町の情報を町内・町外に発信する)
- ②付加価値発見・創出(小鹿野町の魅力を再発見・新しい魅力をつくる)
- ③産業振興・就労支援(町内で働くことを支援する)
- ④関係人口創出(継続的に町に関わる人をつくる)

現時点での進捗状況は、

①情報発信班では、移住者(新規就農者)を対象としたインタビュー冊子を作成し、県農業大学校、農業関連学部のある大学、県関連施設、農協、都内のふるさと回帰支援センターなどで配布いたします。また、インスタグラム写真展を開催し、入賞作品を広報紙や町ホームページ等でお知らせいたします。

②付加価値発見・創出班では、フィルムコミッションの確立のため、写真・動画撮影基礎講習会を開催し、町ホームページでロケ誘致のための空き校舎の紹介ページを作成中です。

③産業振興・就労支援班では、町内14事業所を掲載した「事業所ガイドおがの」の冊子を作成し、1月13日の町成人式や小鹿野高校2年生に配布いたしました。今後も継続して記事募集を行い、掲載事業所の充実を図ります。

④関係人口創出班では、旅館業者へ体験プログラムやアンケートに関するヒアリング調査を実施し、体験プログラム一覧を作成いたします。

このように若手職員プロジェクトチームでは、自分の仕事をしながらそれぞれの分野で研修や実地調査などを行いながら事業を展開しております。町民の皆様も是非、若手職員のこのような活動に対しご協力を賜りたいと存じます。また、町としても若手職員が将来の小鹿野町を背負って立てるように育成に努めてまいります。

小鹿野町長 森 真太郎